

# 児童発達支援事業所 ともだっちー 支援プログラム

作成日 令和7年2月10日

## 【法人理念】

お子さまの持っている潜在的な力を引き出せるようサポートします。

## 【支援方針】

お子さま一人ひとりの可能性を信じ、豊かな体験活動を通してその感性や感覚を育む支援を大切にしています。

## 【営業時間】

平日9時～18時  
(送迎有り)

## 【本人支援】

健康・生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・心と身体の状態を日々細かくチェックし、いつもと違う変化をいち早く発見し、必要なサポートを迅速に提供します。</li><li>・衣服の着脱や排泄など、基本的な生活スキルを身につけるために、活動中の場面において環境を工夫し、お子さまの個々のペースに合わせて最適なタイミングで適切な支援を行います。</li></ul>
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"><li>・発達の基礎となる感覚を大切に、身体を動かす遊びや細かい作業を取り入れた活動を行います。</li><li>・「どのようにすればできるのか？」という柔軟な発想で支援に取り組み、お子さまの感覚の特性に合わせて環境を調整しながらサポートします。</li></ul>
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"><li>・感覚を発達させる基礎を築き、感受性を徐々に高めていくことで、日常生活や社会の中で適切に行動できるように支援します。</li><li>・それぞれのお子さまの特性をしっかりと理解し、その特性に応じた丁寧なサポートを行っていきます。</li></ul>
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"><li>・安心して自分を表現でき、「話したい」と思えるような場や活動を提供します。</li><li>・活動中での行動や会話の場面を通して、お子さまの言葉やコミュニケーション能力を引き出す手法を用い、一人ひとり丁寧に関わります。</li><li>・言葉だけでなく、ジェスチャーなどの様々なコミュニケーション手段を活用し、お子さまが自分の思いを伝えられるよう、その子にあった方法をサポートします。</li></ul>
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"><li>・人間関係や社会性を広げていくためには、まず信頼できる支援者との安定した関係を築き、安心感を得られることが大切です。</li><li>・お子さま同士のやり取りを大切に、集団活動が少し苦手な子どもでも参加しやすいように、環境を工夫してサポートします。</li><li>・共同遊びや小集団での協力作業を通じて、他の子どもたちとの関わり方や自分の気持ちのコントロールの仕方を学んでいけるように支援します。</li></ul>

## 【その他の支援】

家族支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・連絡帳や送迎時にお子さまの情報を積極的にご家族と共有します。</li><li>・療育での活動の様子や支援方法についてもしっかりとお伝えし、ご家族と協力して一緒に支援を進めます。</li><li>・ご家族が抱える不安やお困りごとについても、真心を込めてご相談に応じます。</li></ul>
移行支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・幼稚園・保育園や相談支援事業所といった関係機関と情報をしっかりと共有しています。</li><li>・お子さまとご家族が次のステップに進めるよう、移行支援シートを作成し、必要に応じて提供いたします。</li></ul>
地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・他の通所事業所との情報交換や連携を積極的に行っています。</li><li>・お子さまに提供する療育が一貫性を持ち、効果的であるように、同じ方向性を持つサポートを心がけています。</li></ul>
職員の質の 向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・療育を開始する前に、当日の活動内容や療育のポイントを職員全員に共有しています。</li><li>・療育が終わった後は振り返りを行い、アプローチ方法の改善や環境の調整について話し合いを重ねています。</li><li>・勉強会や社内外の研修を通じて、職員の質の向上に努めています。</li></ul>
主な行事等	園外療育(社会資源の活用)、季節行事(年末年始、節分、ひな祭り、七夕、ハロウィン等)、お祭り・クリスマス会、災害避難訓練 等